



このマークは国民保護措置を行う団体とその要員、建物及び物品の保護並びに避難所を識別するために使用するものです。ジュネーヴ諸条約追加議定書I(1949年)で定められている国際的な標章です。



平成16年9月に国民保護法が施行されました。国民保護とは、この法律に基づき、外国からの武力攻撃や大規模テロ等から、国民の生命、身体及び財産を保護することを言います。万が一、こうした事態が発生した場合、政府が策定する基本的な方針に基づき、国や都道府県、区市町村などが連携協力して、住民の避難や救援、被害の最小化など国民保護措置を実施します。

このため、千代田区では平成19年3月、有事の際の住民の避難、救援といった国民保護措置を円滑に行うことが出来るよう「千代田区国民保護計画」を策定しました。



千代田区環境安全部

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
電話 03-3264-2111



千代田区国民保護計画（概要版）

武力攻撃やテロなどから身を守るために



千代田区

1 国民保護とは？

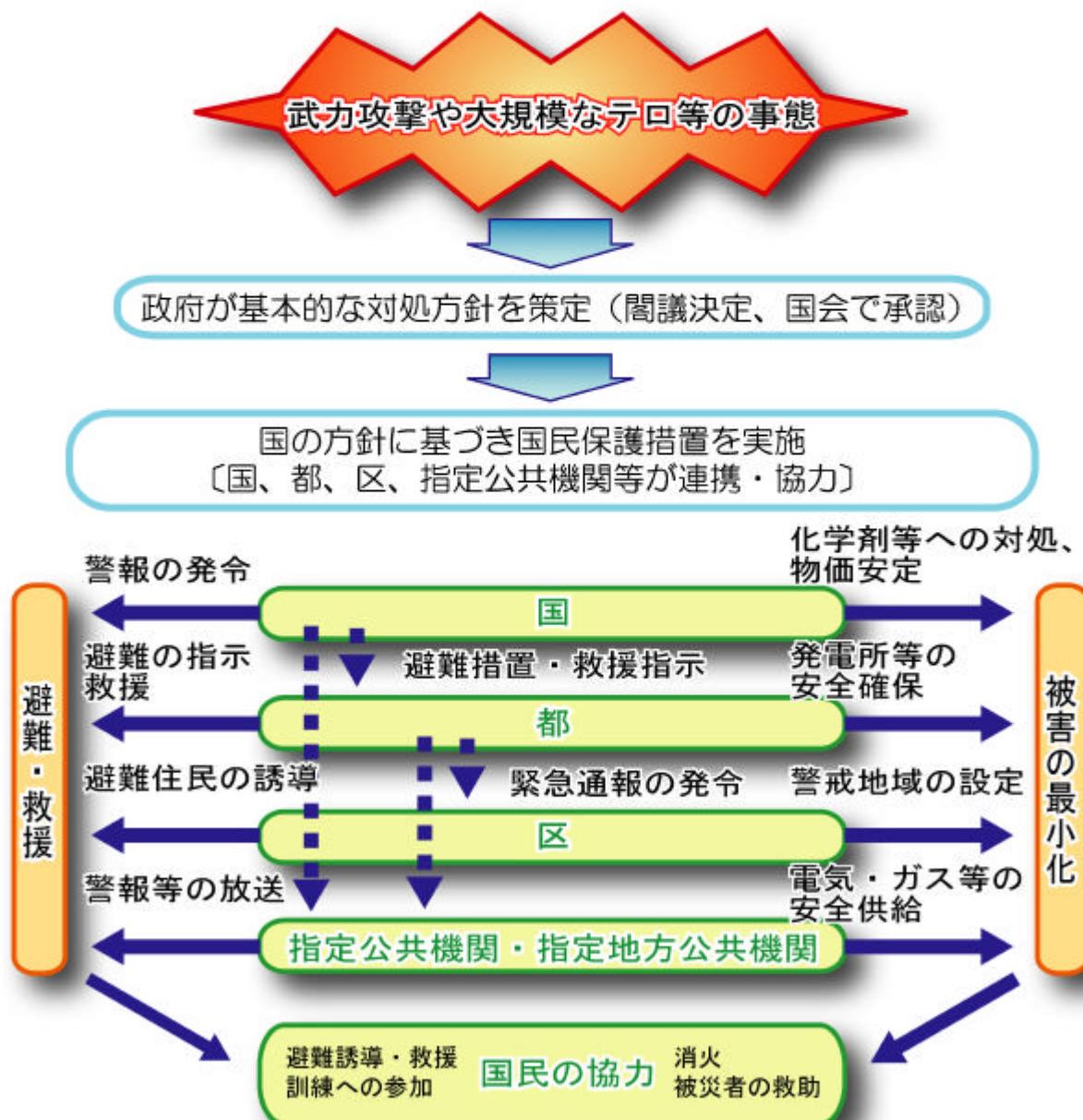
国民保護とは、武力攻撃や大規模テロなどから、国民の生命、身体及び財産を守るために仕組みです。

我が国の平和と安全を確保するためには、外交努力や国際平和協力などを通じて、国際社会の平和と協調を図ることが最も重要なことは言うまでもありません。

しかし、こうした努力にもかかわらず、万一我が国が外部からの武力攻撃を受けたり、大規模なテロが発生した場合には、国、都道府県、区市町村が協力・連携して国民の避難や救援等を的確かつ迅速に行って、被害を最小限にするための仕組みが必要となります。

このため、平成16年9月に国民保護法（正式名称は、「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」）が施行されました。

【国民保護のしくみ】



2 区国民保護計画について

国民保護計画は、外国からの武力攻撃や大規模テロ等に際して、各機関が国民保護措置を迅速・的確に実施するため、予め策定する計画です。

「千代田区国民保護計画」は、「国の基本方針・都の国民保護計画を基本」「区の地域特性や実効性に配慮」「災害対策等の仕組みを最大限に活用」の3つの方針により作成しました。

区国民保護計画の概要

第1編 総論

- ・区の責務、計画の位置づけ、構成等
- ・国民保護措置に関する基本方針
- ・関係機関の事務又は業務の大綱等
- ・区の地理的、社会的特徴
- ・区国民保護計画が対象とする事態

第2編 平素からの備え

- ・組織・体制の整備等
- ・避難、救援及び武力攻撃災害への対処に関する平素からの備え
- ・物資及び資材の備蓄、整備
- ・国民保護に関する啓発

第3編 武力攻撃事態等への対処

- ・初動連絡体制の迅速な確立及び初動措置
- ・区対策本部の設置等
- ・関係機関相互の連携
- ・国民の権利・利益の救済に係る手続き
- ・警報及び避難の指示等
- ・救援
- ・安否情報の収集・提供
- ・武力攻撃災害への対処
- ・被災情報の収集及び報告
- ・保健衛生の確保その他の措置
- ・国民生活の安定に関する措置

第4編 復旧等

- ・応急の復旧
- ・武力攻撃災害の復旧
- ・国民保護措置に要した費用の支弁

第5編 大規模テロ等への対処

- ・大規模テロ等（緊急対処事態）とは
- ・初動対応力の強化
- ・平時における警戒
- ・発生時の対処
- ・大規模テロ等の類型に応じた対処

区の地域特性

● 屋間人口と夜間人口

区の夜間人口（約4万人）に比べ、20倍以上の屋間人口（約85万人）が存在する地域である

● 鉄道

区内は、鉄道による交通網がとくに発達している地域で、JRを始め、都営地下鉄・東京地下鉄、つくばエクスプレスが運行している。

また、東京駅などのターミナル駅が多くある地域である。

● 中央省庁と経済・産業機能

永田町地区の国会議事堂のほか、霞ヶ関地区に中央省庁が集中している。

また、東京駅を中心とし、丸の内・大手町地区に企業の本社が集中している。

● 大規模集客施設等

日比谷地区や紀尾井町地区に国際的なシティホテルが、また、区内全域に劇場、ホール、映画館等大規模集客施設が点在している。

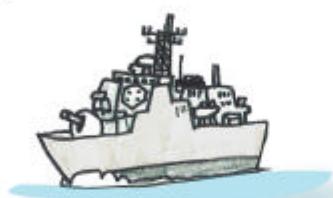
3 想定する事態

区国民保護計画において想定されている武力攻撃事態4類型及び緊急対処事態4類型を対象として、攻撃の手段や規模により、次の事態を想定しました。

武力攻撃事態とは

武力攻撃事態とは、我が国に対する外部からの武力攻撃が発生した事態、又は武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められる事態を言います。

着上陸侵攻



ゲリラ・特殊部隊



弾道ミサイル



航空攻撃



緊急対処事態とは

緊急対処事態とは、武力攻撃に準ずる手段を用いて、多数の人を殺傷する行為が発生した事態、又は発生する明白な危険が切迫していると認められる事態で、国家として緊急に対処することが必要なものを言います。

危険物質を有する施設への攻撃



大規模集客施設等への攻撃



大量殺傷物質による攻撃



交通機関を破壊手段とした攻撃



4 いざという時のために

警報が発令されたら



みんなの安全を守るために、武力攻撃や大規模テロ等が迫つたり発生した地域には、区から防災行政無線のサイレン等を使用して注意を呼びかけることとしています。そして、テレビ、ラジオ等の放送や広報車両等を通じて、どのようなことが発生したか、あるいは発生するおそれがあるのか、どのような行動をとってほしいかといった警報の内容をお伝えします。

また、避難が必要な地域には、同様の方法で避難を呼びかけます。

【室内にいる場合】

- ドアや窓を全部閉め、ガス・水道・換気扇を止めましょう。
- ドア・壁・窓ガラスから離れて座りましょう。

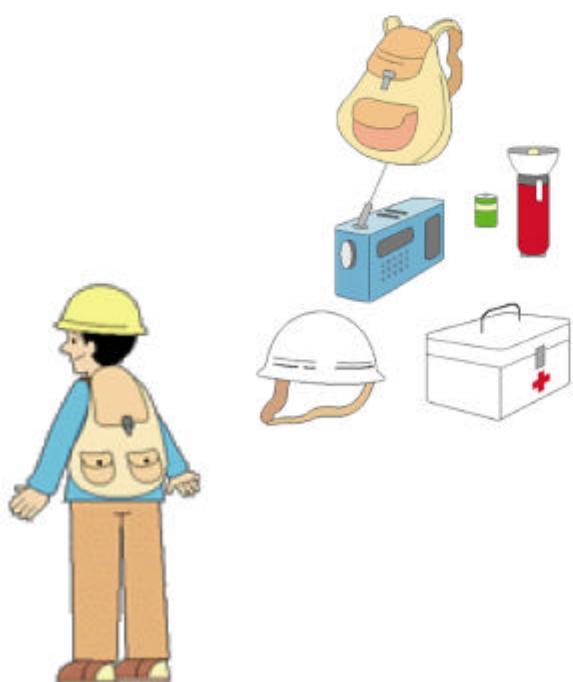
【屋外にいる場合】

- 近隣の堅ろうな建物や地下街など屋内に避難しましょう。
- 自家用車などを運転している方は、できる限り道路以外の場所に車を止めてください。やむを得ず道路に置いて避難するときは、道路の左側端に沿ってキーを付けたまま駐車するなど緊急通行車両の通行の妨げとならないようにして下さい。

【落ち着いて情報収集】

- 警報をはじめ、テレビやラジオなどを通じて伝えられる各種情報に耳を傾け、情報の収集に努めましょう。

避難の指示が出されたら



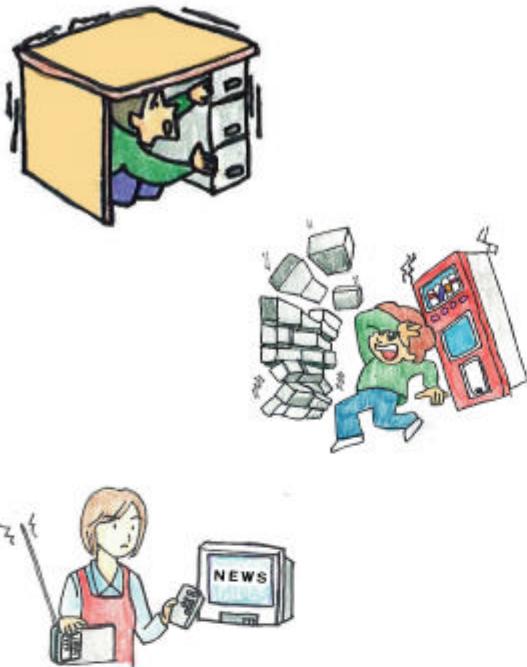
避難の指示は、屋内への避難、近隣の避難所施設への避難、区市町村や都道府県の区域を越えた遠方への避難など、武力攻撃の種類・規模により様々であり、状況に応じてみんなの安全を守るために適切な指示が出されます。

避難の指示が出された場合は、指示に従って落ち着いて行動しましょう。

【避難所へ避難する場合】

- ガスの元栓をしめ、コンセントを抜いておきましょう。
- 頑丈な靴、長ズボン、長袖シャツ、帽子などを着用し、非常持ち出し品を持参しましょう。
- パスポートや運転免許証など、身分を証明できるものを携行しましょう。
- 家の戸じまりをしましょう。
- 近所の人には声をかけましょう。
- 避難の経路や手段などは、指示に従い適切に避難しましょう。

身の回りで爆発がおこったら



みなさんの身の回りで急な爆発が起きたら、以下のこと留意しましょう。

- とっさに姿勢を低くし、堅ろうな建物の陰にかくれるなど、身の安全を守りましょう。
 - 周囲で物が落下している場合には、落下が止まるまで、頑丈なテーブルの下や建物などに身を隠しましょう。
 - その後、爆発が起きた場所や爆発音が聞こえた方向からできる限り速やかに離れましょう。
 - 警察や消防の指示に従って、落ち着いて行動しましょう。
 - テレビやラジオなどを通じて伝えられる情報の収集に努めましょう。
- ◆ 武力攻撃災害の兆候を発見したとき、また、不審な人物や現象を見かけたら、最寄りの警察署、消防署に連絡をお願いします。

【電話】 警察：110番 消防：119番

5 みなさんにご協力をお願いしたいこと

◆国民保護においては、国、東京都、区などの関係機関が国民保護措置を行いますが、被害を最小限にするためにも、みなさんの協力が欠かせません。

- 1 住民の避難や救援の援助
- 2 消火活動、負傷者の搬送、被災者の救助などの補助
- 3 保健衛生の確保に関する措置の援助
- 4 避難に関する訓練への参加

* みなさんの協力は自発的な意思にゆだねられるものです。要請に当たっては強制することはありません。



6 日頃からの備えとして

武力攻撃やテロなどが発生し、避難しなければならない場合に備え、日頃から非常持出品を準備しておくことが大切です。この非常持出品は、地震などの自然災害に対しても役立ちます。日頃から準備・点検をしておきましょう。

非常持出品の一例（是非一度確認してみて下さい。□にチェック）

- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 使い捨てカイロ
- 筆記用具
- 貴重品
- 救急医薬品
- 飲料水、食品（乾パン、缶詰など）
- 衣類など



一度は聴いておきたい警報のサイレン

皆さんは、武力攻撃等が迫っているか、現に発生した場合、警報のサイレンが鳴ることをご存知ですか。サイレン音と国民保護のしくみに関する詳しい情報は、国民保護ポータルサイトのホームページでお聞きいただけますので、一度、ご確認ください。

- ・国民保護ポータルサイト（内閣官房）
<http://www.kokuminhogo.go.jp/>
- ・総務省消防庁
<http://www.fdma.go.jp/>

